

# 知的財産マネジメント研究会

## IPエデュケーター分科会 2003年度活動報告

2004年3月13日  
分科会オ-ガナイザ-  
上條由紀子・隅藏康一



# IPエドゥケーター分科会のねらい

知的財産立国の実現には知財人材の育成が必須！



知財スペシャリストに限らず、企業・大学における研究者から小中学生に至るまで、様々な場に属する方々に、知財への理解を深め、IPリテラシーを高めて頂くことが必要である。



知財人材育成のカリキュラム整備、IP研修・IP教育に携わる教員の養成、コンテンツ作成等のテーマについて関心を持つメンバーによるネットワークの場、情報交換の場として、IPエドゥケーター分科会をSmips内に発足！



## 分科会の主な活動内容 - 1

### 知財(IP)教育に関する提案・意見交換・ディスカッション

- 1) IP教育の現状調査
- 2) IP教育・カリキュラムに使える図書リスト作成
- 3) IP教育に関する報告書等のライブラリー化
- 4) IP教育対象者の分類作成
- 5) IP教育対象分野・教育の場の分類作成
- 6) IP教育カリキュラム骨子の作成
- 7) IP教育カリキュラムの作成とロールプレイ など



4) ~ 6) のテーマにつき、重点的にメンバー全員で検討を行った。

# 分科会の主な活動内容 - 2

## 4) IP教育対象者の分類作成

### 1 一般向け(教養教育)

- 1 - 1 小学生
- 1 - 2 中学生
- 1 - 3 高校生
- 1 - 4 高等専門学校
- 1 - 5 大学生
- 1 - 6 大学院生
- 1 - 7 企業人
- 1 - 8 一般

### 2 理工系向け

- 2 - 1 高等専門学校
- 2 - 2 大学の学部生
- 2 - 3 大学院修士課程
- 2 - 4 大学院博士課程
- 2 - 5 公的研究機関の研究員・研究者
- 2 - 6 民間企業の研究者

### 3 狭義の知財専門家

- 3 - 1 弁理士
- 3 - 2 特許事務所の明細書作成技術者
- 3 - 3 弁護士
- 3 - 4 裁判官
- 3 - 5 裁判所の調査員
- 3 - 6 特許庁審査官・審判官
- 3 - 7 特許庁の調査アシスタント・IPCCの調査員
- 3 - 8 TLOのライセンス・アソシエイト
- 3 - 9 コーディネーター
- 3 - 10 知財戦略立案者(IPコンダクター)
- 3 - 11 企業知財部員
- 3 - 12 知財の教育者・研究者

### 4 知財と関連のある専門職(あるいはそれを目指す人)

- 4 - 1 ハイテク起業家
- 4 - 2 公認会計士・税理士
- 4 - 3 ベンチャーキャピタリスト
- 4 - 4 企業役員(CEO CTO CFOなど)
- 4 - 5 研究開発マネジャー
- 4 - 6 医師
- 4 - 7 ジャーナリスト・記者
- 4 - 8 国の政策立案者
- 4 - 9 地方公共団体の企画調整部門
- 4 - 10 コンサルタント
- 4 - 11 企業の戦略立案プランナー

# 分科会の主な活動内容 - 3

## 5) IP教育対象分野・教育の場の分類作成

### <IP教育対象分野>

#### 1 知財のカテゴリー

- 1 - 1 特許
- 1 - 2 意匠
- 1 - 3 商標
- 1 - 4 著作権
- 1 - 5 ビジネスモデル
- 1 - 6 キャラクター

#### 2 技術のカテゴリー

- 2 - 1 全般
- 2 - 2 バイオ・医療
- 2 - 3 ナノテク・材料
- 2 - 4 IT
- 2 - 5 機械・エレクトロニクス
- 2 - 6 金融

### <教育の場>

- 1 高校以前の学校(小・中学校等)
- 2 大学
  - 2 - 1 知財専門学部
  - 2 - 2 それ以外の学部
- 3 大学院
  - 3 - 1 MBA
  - 3 - 2 MOT
- 4 社会人向け専門スクール
- 5 弁理士試験予備校
- 6 協会・団体の研修
- 7 社内研修
- 8 弁理士向けの研修
- 9 弁護士向けの研修

対象者

教育の場

カリキュラム作成

対象分野

## 分科会の主な活動内容 - 4

### 6) IP教育カリキュラム骨子の作成

対象者、対象分野、教育の場を踏まえた上で、  
具体的な教育カリキュラム骨子の提案を行った。

例) 大学院ビジネススクール学生向け知財コース

例) イノベーションと知的財産権制度 (MOT)

例) 大学生向け知財ホワイトコース (初学者向け)

例) 理工系のための知的財産関連法 など



各カリキュラムにつきメンバーに  
よる発表及び意見交換を行った。

## 分科会の主な活動内容

### 知財(IP)教育に関する講演会・情報の提供・政府への意見提言

- 1) 知的財産推進計画(案)への意見提言(6月)
- 2) 東京大学先端研特任教授 妹尾堅一郎先生による知財教育に関するご講演会(7月)
- 3) 英国イングランド・ミッドランド地方の産学連携・起業教育についての報告(隅藏)
- 4) バイオ知財育成コース(KAST)(隅藏)
- 5) 米国研修プログラム参加報告(JETRO)(西村)
- 6) 英国弁護士ビシュワ氏講演(9月)
- 7) BITS Reviewの紹介及び輪読(10月・12月)
- 8) その他様々な知財研修、知財教育の事例紹介

# 分科会の主な活動内容

## メンバーによるモデル講義

「ザ・ブランド」ー世紀を越えた起業家たちのブランド戦略ー  
ナンシー・ケーン著、櫻村志保訳(翔永社)

この書籍に記載の事例に基づいて、担当者各人の工夫を凝らしたモデル講義を行った。各事例の担当者は以下の通り。

1月17日 DELLのケース 中村さん

1月17日 マーシャル・フィールズのケース 平田さん

2月21日 ウェッジウッドのケース 井上さん

2月21日 スターバックスのケース 中島さん

3月13日 ハインツのケース 青木さん

3月13日 エスティ・ローダーのケース 宮尾さん

「ザ・ブランド」は、世界的に有名なブランドの起業家たちがいかにして消費者の信用を勝ち取り、その確固たる地位を築き上げたのか、その不変的ブランディングについて著された書籍である。その書籍に著された事例をコンテンツとして利用し、担当者が自由な手法で皆さんに内容を講義するという企画である。

## 2004年に向けての展望

今年度は、主に知財教育を行う側の立場、カリキュラム作成を行う側の立場における情報交換・意見交換・ネットワーキングを行った。



来年度は知財教育を受けた方々が、その後どのような場で、知財に関する仕事に取り組み、キャリアを積んでいるのかを講演会またはディスカッション方式を通じて学び、知財キャリアのあり方について検討する分科会を開催する予定。



知財キャリア分科会(仮称)開催予定